

<社会福祉法人 和寒町社会福祉協議会 様>

上映日: 2021/12/15 (水) 場所: 和寒町特別養護老人ホーム芳生苑(北海道上川郡和寒町)



映画の中の一つひとつが自分たちとリンクすると皆さん共感している様子でした。

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

コロナ禍において、忘年会などの福利厚生会行事ができない中、ご利用者のために日々頑張っている職員に映画鑑賞等で楽しんでもらいたいという思いで開催しました。また、日頃の自分たちと同じように、ケアについて考え、悩み、喜び、悲しみ、それでもご利用者様を一番に思うことの大切さが描かれている映画の内容を理解してほしいと感じたからです。

●実行委員会は、どのようなメンバーでしょうか？

特に今回は、実行委員会体制を組んではおりませんが、施設長、各課長、生活相談員が認知症全体研修の実施というところで実施してくれました。

●関係者の方へはどのように告知をしましたか？

認知症全体研修として職員に周知したことで、パート職員などを含めた多くの職員参加がありました。

また、専門学校実習生について、実習の一環として活用いたしました。

●今回の活動を通じて、地域作りに繋がったエピソード等があれば教えてください。

今回は、内部上映でしたが、いつか地域の方々と一緒にこのような映画を鑑賞し、私たちの取組をも理解していただくことが出来ればと感じました。認知症研修のひとつとして実施したわけですが、机上の学びと実践がなかなかうまくいかないスタッフの導入編としても、大変分かりやすい映画だったと思いました。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

しばらくは、映画の話題でもちきりでした。当法人施設では『想いをくみ取り希望を叶えるsmileプラン』というものを通常のケアプランのほか、ご本人のご希望に沿った暮らしを支えるためのプランを提供しています。今回の映画の中の一つひとつが自分たちの行動とリン

クするところがあると皆さん共感している様子でした。

また、多くの方に「本当に良かった。いい映画を見せてくれてありがとう」と言われたり、意外な方が涙を流している姿を見かけると、開催してよかったと感じました。その様子を見て、こんな風に素直に泣けるスタッフがいる施設でともに働くことができ幸せだと思いました。

●今後、上映会を開催される主催者の皆さんに向けて、メッセージをお願いします。

特に特養に働く方々にぜひ見ていただきたいと思います。この1時間半の映画の中に、介護保険の理念であるご本人本位、自立支援、家族支援、認知症の理解、施設を守るリスクマネジメント、地域貢献、役割、職場づくり、職員連携、時代とともに変わる制度を見据えていくことなど、ストーリーのあちこちに凝縮して描かれていました。感動しながらもまたこれからの介護について状況の変化を暗示するような言葉もあります。とても勉強になる映画です。ぜひ多くの方とこの感動を共有したいと思います。